

プログラム

9:25

開会挨拶

実行委員長 小林芳郎（東邦大学名誉教授）

9:30 ~ 10:40

一般口演 1

座長：辻 勉（城西大・薬）、山下 純（帝京大・薬）

- O1* ○佐俣光一¹、岡山幹夫^{1,2}、藤森宏太¹、西山沙織¹、辻 宏樹¹、不藤拓海¹、市川大樹¹、松下麻衣子¹、岩崎源司³、須藤 豊³、山田健人⁴、平尾磨樹⁵、国枝尚子⁵、長田 眞⁵、服部 豊¹
（¹慶大院・薬、²慶大院・医、³高崎健康大・薬、⁴埼玉医大・病理、⁵済生会中央病院）
天然物由来成分 komaroviquinone 及びその誘導体群は in vivo において抗骨髄腫活性を示す
- O2* ○黒田優美、石橋賢一、中谷絵理子、武田剛寛、牧野成美、厚味巖一
（帝京大・薬・病態生理）
TNF- α 刺激した脂肪細胞から放出されるマイクロパーティクルの解析
- O3* ○岡田 亮、山本一夫、松本直樹
（東京大院・新領域）
DCIR2 発現細胞の新規同定および発現の組織特異性
- O4 ○松本直樹、林 康広、佐々木洋子、小泉昂範、遠田由希乃、鈴木健太、瀧本 苗、濱野優輝、高橋彩香、山下 純
（帝京大・薬・生物化学）
脂質代謝に関わる細胞内型ホスホリパーゼ A1 の活性を制御するプロテインキナーゼの同定
- O5 ○山口憲孝^{1,2}、高野博之²、山口直人¹
（¹千葉大院・薬・分子細胞生物学、²千葉大院・薬・分子心血管薬理学）
転写共役因子 VGLL3 による上皮間葉転換の誘導
- O6 川原田祐貴、井上靖道、伊藤友香、○林 秀敏
（名市大院・薬・細胞情報学）
Smad/p53 クロストークによる PAI-1 遺伝子発現制御
- O7 ○宮嶋ちはる^{1,2}、岩城孝行¹、Victoria A Ploplis³、梅村和夫¹、Francis J Castellino³
（¹浜松医大・医・薬理学、²名市大院・薬・細胞情報学、³ノートルダム大学・生化学）
高 LDL 血症におけるマクロファージ泡沫化に対する Plasmin 活性の役割

座長：板部洋之（昭和大・薬）、川島博人（千葉大院・薬）

- O8 ○小濱孝士¹、大日方瞳¹、高木孝士²、澤田直子¹、相内敏弘¹、板部洋之¹
（¹昭和大・薬・生物化学、²昭和大・電子顕微鏡室）
好中球細胞外トラップ形成を介した酸化 LDL の血管内皮細胞炎症誘導
- O9 ○奥 輝明¹、栗坂知里^{1,2}、安藤祐介^{1,3}、人見祐基¹、築地 信¹、伊藤佐生智^{1,4}、
辻 勉^{1,5}
（¹星薬大・微生物、²帝京平成大・薬、³星薬大・先導研、⁴名市大・薬、
⁵城西大・薬）
黄色ブドウ球菌 Staphylococcal superantigen-like protein 5 (SSL5) の宿主免疫系に与える影響
- O10 ○安藤祐介¹、奥 輝明²、千葉義彦³、辻 勉⁴、亀井淳三¹
（¹星薬大・先導研、²星薬大・微生物、³星薬大・生理分子科学、⁴城西大）
血小板によるマクロファージの機能調節機構の解析
- O11 ○小松紀子、塚崎雅之、高柳 広
（東京大院・医・免疫学）
自己免疫疾患を制御する新規 T 細胞サブセットの同定とその存在意義の解明
- O12 ○伊豫田拓也^{1,2,3}、中川 嘉⁴、島野 仁⁴、深井文雄^{2,5}
（¹山口東京理科大・薬・病態生化学、²東京理科大・総合研究院・トランスレ
ーションリサーチセンター、³東京理科大・総合研究院・再生医療と DDS の
融合研究部門、⁴筑波大・医・内分泌代謝/糖尿病、⁵東京理科大・薬・分子病
態）
細胞外マトリックスによるマクロファージ機能調節と病態形成
- O13 ○小池敦資、花谷南帆、藤森 功
（大阪薬大）
カスパーゼ阻害剤による炎症性マクロファージを標的とした細胞死誘導機構の
解析
- O14 ○山口雅史¹、藤村欣吾²、世良行寛¹
（¹広島国際大・薬、²安田女子大）
SBDS 遺伝子発現低下による細胞増殖抑制

座長：東 伸昭（星薬大）

- F1* ○阿部菜里、木村円香、久保まりな、中牟田絢佳、松井佑莉、米田菜希子、
迎 武紘、増田有紀、中山喜明、小西守周
（神戸薬大・微生物化学）
分泌型ヘムタンパク質 Neudesin による赤血球代謝調節機構の解析
- F2* ○XIONG WEI、柳 雯昕、劉 偉、平川城太郎、川島博人
（千葉大院・薬・免疫微生物学）
気管支喘息モデルにおける抗シアリルルイス X 糖鎖抗体の治療効果の検討
- F3* ○山口大樹¹、小鷹 篤¹、早川侑希¹、奥 輝明¹、安原 義²、供田 洋²、旦 慎吾³、
築地 信¹、辻 勉^{1,4}
（¹星薬大・微生物、²北里大・薬・微生物薬品製造学、³がん研究所・がん化学
療法センター・分子薬理部、⁴城西大・薬）
リノール酸酸化生成物 9-(E, Z)-HODE の細胞増殖抑制効果について
- F4* ○金子 豊¹、安藤祐介^{1,2}、人見祐基¹、築地 信¹、奥 輝明¹、辻 勉¹
（¹星薬大・微生物、²星薬大・先導研）
マウス血小板における Coronin-1 のリン酸化の解析
- F5* ○生田駿乃介¹、大熊晴香¹、鈴木聖也¹、金田 碧¹、福田明々人¹、福村修示¹、
史 佳¹、高橋勝彦¹、安達勇光²、西村吉雄²、中島元夫³、入村達郎⁴、東 伸昭¹
（¹星薬大・生化学、²微生物化学研究所、³SBI ファーマ、⁴順天堂大）
ヘパラーゼ阻害物質 heparastatin(SF4)の結腸癌細胞増殖抑制機構
- F6* ○小原凜弥¹、金田 碧¹、福田明々人¹、彼ノ矢陸¹、梅田尊弘¹、高橋勝彦¹、安
達勇光²、西村吉雄²、中島元夫³、入村達郎⁴、東 伸昭¹
（¹星薬大・生化学、²微生物化学研究所、³SBI ファーマ、⁴順天堂大）
腫瘍塊からの突起伸長とヘパラーゼ
- F7* ○原口美千歌¹、築地 信²、近藤大輝¹、高橋勝彦¹、中島元夫³、入村達郎⁴、
東 伸昭¹
（¹星薬大・生化学、²星薬大・微生物、³SBI ファーマ、⁴順天堂大）
結腸がん細胞表面のヘパラーゼ結合タンパク質探索を目的とするヘパラーゼ
融合タンパク質の作製
- F8* ○鈴木明日美¹、玉田 裕²、山下諒子¹、古市紗都¹、高橋勝彦¹、中島元夫³、
入村達郎⁴、東 伸昭¹
（¹星薬大・生化学、²(公財)ときわ会常磐病院、³SBI ファーマ、⁴順天堂大）
リンパ節高転移性を示す卵巣癌細胞におけるヘパラーゼとリンパ節転移関連
分子の発現解析

- F9* ○川並史也¹、宮川尚子¹、須藤勸耀¹、鈴木沙奈¹、岩崎文香¹、津田晴菜¹、高橋勝彦¹、築地 信²、奥 輝明²、安達勇光³、西村吉雄³、中島元夫⁴、入村達郎⁵、東 伸昭¹
(¹星薬大・薬・生化学、²星薬大・薬・微生物、³微生物化学研究所、⁴SBIファーマ、⁵順天堂大)
マスト細胞が前駆体へパラナーゼを優先して取り込む機構の解析
- F10* ○前田理乃¹、瀬底 央¹、磯野桃子¹、石川壮大¹、谷祐里菜¹、高橋勝彦¹、奥 輝明²、中島元夫³、入村達郎⁴、東 伸昭¹
(¹星薬大・生化学、²星薬大・微生物、³SBIファーマ、⁴順天堂大)
マウス骨髄細胞由来マスト細胞グリコサミノグリカンのヘパラナーゼに対する阻害作用
- F11* ○御子神拓樹¹、臼井麻琴¹、阿部史弥¹、渡辺マコ¹、築地 信²、山本典生³、東 伸昭¹
(¹星薬大・生化学、²星薬大・微生物、³順天堂大)
インフルエンザウイルス感染における細胞表層ヘパラン硫酸の関与
- F12* ○龍腰ほのか、高橋勝彦、山本みな美、石井健太郎、米山ゆい、東 伸昭
(星薬大・生化学)
ヒト絨毛がん細胞株 BeWo のシンデカン発現の検討
- F13* ○小高聡美¹、高橋勝彦¹、石井健太郎¹、藤田絢哉¹、山本みな美¹、津吹政可²、東 伸昭¹
(¹星薬大・生化学、²星薬大・生体有機)
カフェ酸誘導体によるアポトーシス細胞死の機序の解析
- F14* ○細屋 泉、紺澤咲乃、高橋勝彦、石井健太郎、東 伸昭
(星薬大・生化学)
L-グルタミンによる脂肪細胞のPPAR γ の制御
- F15* ○石井健太郎¹、高橋勝彦¹、紺澤咲乃¹、細屋 泉¹、高橋典子²、東 伸昭¹
(¹星薬大・生化学、²星薬大・衛生化学)
メチオニンコリン欠乏食誘発NASHモデルマウスに対するレチノイン酸の効果
- F16* ○藤田絢哉、高橋勝彦、小高聡美、石井健太郎、植松優希、東 伸昭
(星薬大・生化学)
肝臓の脂質ラフトにおけるリン酸化タンパク質異性化酵素・Pin1

13:50 ~ 14:50

ポスター示説

* 印の演題についてポスター発表を行います

15:00 ~ 17:00

特別シンポジウム「細胞死と病態、その制御」

座長：小林芳郎（東邦大学名誉教授）、笠原 忠（自治医大）

- S1 田中正人（東京薬科大・生命科学・免疫制御学）
好中球細胞外トラップ形成における脂質酸化の関与
- S2 中野裕康（東邦大・医・生化学）
ネクロプトーシスのライブセルイメージング
- S3 今井浩孝（北里大院・薬・衛生化学）
脂質酸化依存的新規細胞死リポキシトーシスとフェロトーシス
- S4 袖岡幹子（理化学研究所）
薬物による細胞死の制御

17:00~17:10

表彰式

17:10~17:15

閉会挨拶

日本薬学会生物系薬学部会 服部光治（名市大・薬）

17:30~19:00

懇親会